Y16a 科学・技術に対する意識調査

生田ちさと

本講演では、インターネットを通じて行った科学・技術関心度についての意識調査の結果について報告する。本研究では、(1) どのくらいの割合の人々が科学・技術に関心を持っているのか、(2) 科学・技術に関する情報は国民とわかりやすく共有されているか、について、回答者属性との関連や過去の調査結果との比較も含めて議論する。また、科学・技術のなかでも天文学や宇宙開発・探査については、特に焦点を当て、関心の有無と程度、関心をもつ層/持たない層の特徴について、注目して議論を行う。

本研究で用いる調査は、2024年11月から12月にかけてインターネットを通じて行ったものであり、約20,000人（男女ほぼ同数で、25歳から49歳までの各年代同数となるように設定）の回答を取得した。回答者については年齢や性別に加え、未婚/既婚、子供の有無、同居する子供の有無と年齢層、業種、職種、最終学歴、世帯年収、居住形態、居住地（都道府県）、といった属性データがある。科学・技術や天文学と宇宙開発・探査についての、一般的な国民の意識とこれらの属性との関連を分析し報告する。また、科学技術への国家予算の支出についての意識についても報告する。